

# 都立狛江高等学校 令和5年度 教科公民 科目倫理 年間授業計画

教科：公民 科目：倫理

対象学年組：第3学年1組～8組

教科担当：(1組：明石) (2組：明石) (3組：明石) (4組：明石) (5組：明石) (6組：明石) (7組：明石) (8組：明石)

使用教科書『改訂版 倫理』数研出版

使用副教材『スタディノート倫理』数研出版

	指導内容	倫理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配出 時数
4月	現代に生きる自己の課題 -人間とは何か-	人間の本質や特徴に関する先哲の考えを紹介し、何を持って人間というかを考えさせるとともに人間の多様性や多義性を理解できるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる自己の課題 -青年期の意義と課題-	青年期は、将来に向けた進路選択など、自己の生き方について悩みながら、自己を確立する基礎を培う時期であることを知る。自分を含めた青年が、どのような世代的特徴を持っているかを考えるとともに青年期の身体的・社会的・心理的な特徴を理解し、青年期の課題について考えられるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる自己の課題 -自我の発見と自己形成-	自分の性格や能力などについて考察し、自立した人生を送るためには、アイデンティティの確立が必要不可欠であり、このことが青年期における最も重要な発達課題であることを知るとともに大人になるということの意味について考え、自立した社会人となるための意欲が持てるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
5月	現代に生きる自己の課題 -自己実現と生きがい-	個性化と社会化の意味を理解し、その実現を目指す態度を持てるようにするとともに自己実現と生きがいの関わりを認識し、身近な人間関係を通して、他者とのかわりにおいて生きることの大切さや他者を一人の人間として尊重することの大切さを知る。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -西洋思想の源流と哲学の誕生-	神話が人間に対して持つ意味と哲学が誕生してきた背景を理解し、哲学とは何を探求する学問なのかということへの関心と興味を持てるようにする。また、古代ギリシアにおける、西洋思想の源流ともいえるソクラテスとその思想について、「無知の知」などのキーワードとともに理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -西洋思想の源流と古代ギリシア思想-	古代ギリシアにおけるソクラテス後のプラトン、アリストテレスといった代表的な先哲とその思想について、「イデア」、「友愛」などのキーワードとともにその特徴を理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
6月	人間としての自覚 -西洋思想の源流とキリスト教の誕生-	宗教が人間に対して持つ意味について考察するとともに、自分なりの意見を持つことができるようにする。また、ユダヤ教の歴史と特徴について正しく理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -西洋思想の源流とイスラムの教え-	イエスの言行と思想について理解を深めるとともに、イエスの死後、パウロらの伝道によってキリスト教が世界宗教として広がる基礎が築かれていく過程とキリスト教の基本的な教えのあり方を理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -東洋思想の源流と古代インド思想と仏教-	キリスト教と関連させながらイスラム教成立の歴史的背景を理解し、ムハンマドの言行や「六信・五行」などの理解を通して、ムスリムの日常生活や基本的な価値観を理解する。イスラム社会における相互扶助や共同体の在り方など、聖俗一致を基本とするイスラム教の特徴について理解する。また、現代イスラムの実情について興味と関心が持てるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
7月	人間としての自覚 -東洋思想の源流と中国思想-	バラモン教成立の背景を理解し、ウパニシャド哲学の思想について正しく考えることができるようにする。日常生活を振り返って仏教への関心を抱くとともに、現代における仏教の意義について理解する。また、仏陀の説いた「四苦」、「八苦」、「煩悩」などの諸概念と、それらを克服し、涅槃に至る方法としての「八正道」について正しく理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -東洋思想の源流と中国思想-	仏教における縁起や空の思想を正しく理解し、現実の生活のあり方を探求する姿勢を学ぶとともに、仏教後の仏教の発展や上座部仏教・大乘仏教のそれぞれの思想を学ぶ。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	人間としての自覚 -現代に生きる遺産-	日本社会にある儒教文化や中国思想について関心をもち、諸子百家の代表的な思想を正しく理解するとともにその出現の背景や儒家が求めた仁や礼を理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
9月	人間としての自覚 -現代に生きる遺産-	日本社会にある儒教文化や中国思想について関心をもち、諸子百家のうち、特に孔子の教えについて理解するとともに、孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」との比較等を通じて、両者の人間についての見方や考え方の相違について理解する。道家の思想内容を理解するとともに、現代社会にもつ意味を考える。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる人間の倫理 -西洋近代の思想：自然・科学と人間-	現代に残る代表的な歴史的遺産を取り上げ、それぞれの文化的な意味や歴史的意義を考えながら、それらが人類に与えた影響について正しく理解できるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる人間の倫理 -西洋近代の思想：個人・社会と自由-	現代の科学・技術と人間生活の関わりに興味と関心が持てるようにするとともに、近代科学の先駆者の功績について正しく理解する。また、デカルトやベコンの思想の理解を通じて、科学的思考の意味について考える。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
10月	現代に生きる人間の倫理 -西洋近代の思想：個人・社会と自由-	ホッブズ・ロック・ルソーの思想の理解を通じて、国家(政府)の成り立ちや個人の権利についての考え方の相違に着目し、社会と個人のかかわりに焦点を当てて理解できるようにする。また、自由と自由の意味について考え、自分なりの意見を持つことが出来るようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる人間の倫理 -西洋近代の思想：民社会の倫理-	カントの思想の理解を通じて理性の働きや人間の尊厳について考えられるようにする。ヘーゲルの思想の理解を通じて、法と道徳や家族と社会や国家の関係について考えられるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代に生きる人間の倫理 -現代の思想：現代思想の流れ-	ベンサム・ミルの思想の理解を通じて、幸福の問題について考えることが出来るようにするとともに、プラグマティズムの思想的特徴と、この思想が民主主義や教育に果たした意義を考察出来るようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
11月	現代に生きる人間の倫理 -現代の思想：現代社会と生き方-	近代の理性中心的な考え方を問い直し、個人が自己の主体性を回復することの重要性を説いた実存主義の考え方について知る。ヤスパースやサルトルなどの思想理解を通じて、主体的に生きるこの意味について考える。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	国際社会に生きる日本人としての自覚 -日本の伝統思想と東洋思想の需要- 日本の風土と古代日本人の考え方	先人の努力によって獲得された自由が、高度に発達した現代社会においてどのように捉えられ、裏切られているかをフロムやウェーバー等の思想から考える。 ガンジーやシュバイツァーの思想や活動を理解し、現代におけるヒューマンイズムの意義について考える。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	国際社会に生きる日本人としての自覚 -日本の伝統思想と東洋思想の需要- 仏教の需要と展開	日本の気候・地形・植生などの風土について考察し、和辻哲郎が唱えた「風土」の考え方を基に、モンスーン型の風土に生きる日本人の自然に対する姿勢的、恐怯的な性格について理解するとともに日本古来の死生観や道徳観などを理解する。また、清めや穢いなどの古代以降の日本的罪観念について、現代と比較して考察することが出来るようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
12月	国際社会に生きる日本人としての自覚 -日本の伝統思想と東洋思想の需要- 儒学の需要と国学の発達	聖徳太子による仏教の日本への定着の意義を考えると、空海と最澄の思想を正しく理解する。鎌倉新仏教と法思想の関連を理解し、日本仏教の宗派について関心をもち、その特徴を正しく理解する。古典や芸能などの中に見られる仏教思想の影響に気づくことができるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	国際社会に生きる日本人としての自覚 -西洋思想の需要と近現代の日本の思想- 近代の日本の思想	日常生活の中に見られる儒教的な儀礼について関心をもち、国学の思想や神道思想について理解する。民衆の思想や洋学の思想的な特徴とその時代背景を理解する。日本人の中にある儒教的なものについて考える。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	国際社会に生きる日本人としての自覚 -西洋思想の需要と近現代の日本の思想- 国際社会を生きる日本人	明治以降の日本のあゆみについて関心をもち、明治維新の持つ意義について考察する。啓蒙思想・キリスト教思想などについて思想的な特徴や意義について正しく理解する。近代文学や大正デモクラシー、近代日本の哲学の概略について理解するとともに、その思想が求めたものを考察する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
		現代の国際社会の中で、わが国が果たしている役割の考察し、グローバル化とナショナリズムとの関連性と今後の日本のあり方について考察する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2

	国際社会に生きる日本人としての自覚 -西洋思想の需要と近現代の日本の思想- 日本思想の流れと伝統文化	古来の民族宗教を基礎として成り立つ日本文化が、仏教・儒教・西洋思想などの外来思想の影響を受けて現代日本の文化を生み出すに至った経緯に関心を持ち、正しく理解できるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	3
12月	現代の諸問題と倫理 -あるべき社会を求めて-	現代社会が抱える諸問題についての自覚や関心を持ち、現代社会の課題の背後にある思想を正しく理解する。また、現代社会が求めている価値について、マスメディア等を参考にしながら自分の意見を持てるようにする。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代の諸問題と倫理 -現代の特質と倫理的課題-	現代の生命科学に関心や興味を持ち、生殖技術や出生前診断、生命維持治療など、医療技術の進歩によって生じる新たな課題を多面的に捉え、従来の生命観のみでは対処できない問題が生じていることを理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
1月	現代の諸問題と倫理 -現代の環境問題-	現代の環境問題に関心や興味を持ち、地球環境問題を考察するための土台として、地球の有限性、世代間倫理、自然の生存権の3点を重視した環境倫理の考え方を理解する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代の諸問題と倫理 -情報化社会の功罪-	情報化の進展について考察し、情報化社会とその抱える課題に関して、情報公開制度や情報リテラシー制度の活用を含めて積極的に関わろうとする態度を育む。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	現代の諸問題と倫理 -さまざまな文化・宗教への理解-	グローバリゼーションがもたらす文化的な問題点について考察するとともに、多文化主義や文化相対主義の意味を理解し、自民族優越主義の克服による国際平和と人類の福祉の向上について探求する。	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
2月	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	2
	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	1
3月	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	1
	(1年間の総復習と個別学習課題) (特別時間割)	(特別時間割を活用して、1年間の総復習と生徒各自の個別的な学習課題探求に取り組む。)	定期考査及び興味・関心度・発表等の有無を総合評価	1